

まちだの歴史の巻(1)



大量の情報の中から目的の情報を見つけ出すのは至難の業かも！？

そこで、調査に役立つ代表選手(図書資料)をテーマごとにご紹介するこの企画。

今回は、町田市立中央図書館の蔵書の中から、「まちだの歴史」を知るのに役立つような図書資料をご紹介します。町田市に関する資料は「地域資料」として、他の図書とは違う請求記号を付けて、配架しています。こちらの図書は貸出できるものもあります。中央図書館以外でも所蔵しているものがあります。中央図書館以外の配架場所・所蔵状況は、それぞれの館にお問い合わせください。

1. 通史

★ここに紹介した本はすべて5階奥「地域資料コーナー」にあります。

書名	著者	出版社	出版年	請求記号
主な内容				
町田市史(上・下)	町田市史 編纂委員会	町田市	上:1974年 下:1976年	M10-C1
上巻で原始・古代から近世にかけての町田を、下巻で明治・大正・昭和の町田を詳述。歴史編とは別に、町田の地理・宗教・民俗的諸相等についても併せてまとめられており、まさに町田の歴史と文化の集大成とも言えるべき史書。				
町田の歴史をさぐる	まちだの歴史をさぐる委員会	町田市	1978年	M10-C1
『町田市史』を土台に、もう少し平易で手軽なものをということで企画された一冊。コンパクトながらも、原始から現代まで町田の歴史が漏れなく収められている。				
増補 町田の歴史をたどる	まちだの歴史をたどる委員会	町田市	2004年	M10-C1
「明治の農民運動」「移りゆく鉄路」等、様々なテーマで15人の著者が町田の歴史を綴る。平易な文章に図版も豊富に添えられ、親しみやすい一冊。初版1981年。増補初版は1992年。				
はじめてのわかりやすい町田の歴史	堀江 泰紹	国書刊行会	1990年	M10-C1
町田ジャーナル社主幹であり、町田を隅なく知り尽くした著者が、何にならうことなく独自の手法で執筆した、正確でわかりやすい歴史書。				

2. 地域史

書名	著者	出版社	出版年	請求記号
主な内容				
絹の道 原町田	森山 兼光	武相新聞	1983年	M115-C1
サブタイトルに「町田商店街史」とあるように、商業地として発展を続ける町田の歴史を写真と詳しい解説でたどる。				

南村誌	細野 喜代四郎	同左	1915年	M13-C1
「沿革之部」「附録（人物小伝等）」「地理之部」の3部構成。				
忠生村誌	忠生村村誌編さん委員会	同左	1963年	M15-C1
先史時代から現代まで、時代をおって忠生村の文化や行政を振り返る。				
鶴川村誌	鶴川村役場	国府 慎一郎	1958年	M17-C1
本書は、「古代～近世」2割、「現代」4割と、「現代」に重きを置いた構成になっているが、何より特異なのは、残り4割を村民8千余名の名簿に割いている点である。				
堺村誌	堺村誌編纂委員会	同左	1975年	M19-C1
「行政」「財政」「農業」「教育」「交通・通信」「治安」「厚生」等々、様々な観点から、村民自らが堺村の歴史を考察する。				

3. 人物

書名	著者	出版社	出版年	請求記号
主な内容				
町田歴史人物事典	町田地方史研究会	小島資料館	2005年	M10-C9
町田市域出身、ゆかりの人物456名収録。巻末に行政・教育機関で活躍した人物の一覧あり。				
ことばの森の住人たち ～町田ゆかりの文学者	町田市民文学館 ことばらんど	同左	2006年	M10-Y0
2006年10月から2007年3月にかけて開催された、表題の開館記念展の図録。 2000年までに物故した町田ゆかりの文人23人を、美しい写真と解説で紹介する。				
町田に影を落とした旅人たち	飯田 俊郎	町田ジャーナル社	1981年	M10-C9
著者が市立緑ヶ丘小学校在職中に朝会講話として語った内容を文章にまとめ、それに「考察」を加筆したもの。大人も子どもも楽しめる郷土歴史物語。				

☆ 今回紹介した地域資料の請求記号は、他の図書とちょっと違います。

上段のMは地域を示し、M10は町田市、M115は原町田、M13は南地区、M15は忠生地区、M17は鶴川地区、M19は堺地区をそれぞれ示します。

下段のCは歴史・伝記を表します。

地域資料は、先ず同じ地域ごとにグループ分けした上で、A～Zの順に配架しています。



【製作・発行】

町田市立中央図書館
〒194-0013 町田市原町田3-2-9
Tel.042-728-8220

